



皆様の「快適な暮らし」のヒントに

# すまい造りメール

第138号 2013年9月号

SINCE 2002.4.1.

発行日平成25年8月26日  
発行元有限会社佐野工務店  
〒237-0068  
横須賀市追浜本町1-25  
TEL 046(865)4010  
FAX 046(865)6139  
<http://www.sano-k.net/>  
info@sano-k.net

## MEWLAND

11月9日(土)・10日(日)と三笠公園で、横須賀市最大のイベント「よこすか産業まつり」が開催されます。農水産物をはじめ、市内の事業者による自社製品、取扱い商品等の紹介や販売が行われます。弊社では、パーパークラフト教室「みんなde街づくり」を開催します。今年で5年目の出展となります。昨年からは、3ヶ年計画で、テーマをECOイズムとして、三浦半島を模した「MEWLAND」の後期三部作に挑戦しています。街並みや景観を考へて、サイコロキャラメルの空き箱を使って、自分でデザインした住まいを配置して、みんなが住みやすいように、みんなで街づくりをしましょう。



(詳細は次号にて特集させていただく予定です)

## 追浜バルめぐり

追浜の街を食歩き、飲み歩き、楽しく過ごしちゃおうというイベント「追浜バルめぐり」が2月に引き続き、8月27日(火)・28日(水)の2日間に亘って、追浜駅周辺の居酒屋・レストラン・食堂・スナックなどの29店舗の飲食店で開催されます。「ちょいと一杯」を楽しめるような飲み物と料理をセットにしたバル・セットで「はしご」をすることができます。3店舗を利用できる3枚つづりの前売り券は2,400円(当日券2,500円)で追浜こみゆに亭カフェなどで購入できます。



それぞれの店舗の紹介や場所、イベントの開催時間やメニューなど詳細については、下記のHPにアクセスしてください。 <http://oppama-bar.com/>

皆様のご愛顧、ご愛読に感謝申し上げます  
創業 1960.1.20. **Next50**  
創刊 2002.4.1.

昭和54年の新築工事以来、リフォームや住宅設備のメンテナンスを担当させていただいているお住まいをご紹介します。

今回はエクステリア工事です。鷹取石とトタン板の既存の囲いを解体して、既存のブロックに鉄筋を入れて補強しながら積み直し、アルミ製のフェンスを設置しました。

## 「前略 おせわ様。その後いかがお過ごしですか。」

追浜地区周辺では明治から昭和にかけて、この鷹取石が加工がしやすいことから、家屋の基礎や塀などに使用されてきましたが、鷹取山の岩に残るハーケンの跡からもわかるように浸食されやすい特徴を持っています。「昔からあるものを残せないのは残念ですが、安心・安全を優先しました。」というご感想をいただきました。

「劇的な」リフォームではないかも知れませんが、ピフォア、アフター、さらにそのアフターまでお手伝いさせていただきます。



最近時々吹く強風でフェンスが飛ばないか心配だった

ざっくばらん  
雑句芭欄

## こいま みつを

2013年は、2012年に引き続き、相田みつを氏の詩を取り上げます。書の道で迷い苦しむ日々の中で、仏像との対話から生まれた言葉の数々を集めた「かんのん讃歌」を中心にお届けします。



(相田みつを「かんのん讃歌」より抜粋)

クイズ  
問 眩只和

勝手に MEWLAND検定

2013年は三方を海に囲まれた自然豊かな三浦半島(MEWLAND)に関する問題を20問設問します。成績優秀者にはMEWLAND検定合格者として勝手に認定します。

(答えは裏面に記載しています。)

(問題13) 横須賀製鉄所で使われた多くの工作機械を買い付けたのは誰か?

- (ア)堤磯右衛門
- (イ)肥田浜五郎
- (ウ)栗本鋤雲
- (エ)中島与曾八

(問題14) 横須賀港の地形と似ているとされるフランスの港はどれか?

- (ア)トゥロン (イ)ニース
- (ウ)マルセイユ (エ)リヨン

## 横須賀製鉄所物語（ヴェルニーと肥田浜五郎）〈2〉

52年11ヵ月の間、都市政策を中心に横須賀市の発展に寄与され、最後の8年間は2期に亘り、横須賀市助役として活躍された井上吉隆氏に近代日本の礎となった横須賀製鉄所についてお話しを伺いました。

横須賀製鉄所の建設がフランスの技術協力により進められることになり、徳川幕府は建設場所について長浦湾を予定していました。駐日フランス公使ロッシュから長浦湾の現地調査の申し出があり、フランス側と共に小栗上野介以下が参加して測量調査した結果、長浦湾は水深が浅いため造船所としては適地でないとの判断が下され、隣接する横須賀湾の方が、湾の形状、水深の面からも適地であるとの判断が下された。加えてフランス人からは母国のツーロン港によく似た地形であるとのことも、建設場所判断の要因の一つになったとも言われている。

しかし、この場所の決定について幕臣でもある肥田浜五郎は、江戸湾の入口に製鉄所（造船所）を建設したのでは、外敵から攻められた時に真っ先に占領されてしまうので、江戸湾の奥に当たる石川島や越中島が適地であるとの意見書を提出している。そして、それも一度のみならず執拗に主張されました。

このように反対意見が繰り返し提出されたのは、単に立地についての意見だけではなく、他にも要因があったものと考えられます。それは、横須賀製鉄所建設が決定する直前に、石川島造船所拡充のため肥田浜五郎はオランダに派遣され、大型船建造のための機械の購入、技術の伝習を命じられました。横須賀製鉄所の建設が決定されたことに伴い、その中止やフランスへ派遣された幕臣への協力など、短い期間に幕府の命令が二転三転したこと、長崎海軍伝習所とオランダで学んだ造船学が生かすことができなかったことも、その理由と考えられます。

もし、横須賀でなく石川島や越中島に大型船の建造施設が完成していたらどうでしょう、輻輳する東京湾の海上交通、それに伴う海難事故の増加。そして、日本経済の中心都市である東京の都市機能を考えた時には、現在の位置に決定したことは正解であったと考えます。

（元横須賀市助役 井上吉隆）

※横須賀製鉄所は、幕末の1865年（慶応元年）、江戸幕府の勅定奉行小栗上野介の進言により、フランス人技師フランソワ・レオンス・ヴェルニーを招き、横須賀製鉄所（造船所）として開設され、明治新政府に引き継がれ1871年に完成した。日本の近代化に大きく貢献した。

勝手にMEWLAND検定の答え（問題11）(イ)（問題12）(ア)



①ヴェルニー公園の小栗像  
②第1号ドライドック

## エコミュージアム

エコミュージアム（Ecomuseume）とは、エコロジー（生態学）とミュージアム（博物館）という言葉合せた造語で、G.H.リヴィエール氏が提唱したエコミュゼ（フランス語）を英訳した言葉です。従来の博物館は、建物を造り、専門家から見たある分野の収集コレクションを専門家による展示をして、そこに来場者を招き入れ、専門家が説明をするというスタイルですが、このエコミュージアムは、ある特定の地域において、住民の参加によって、その地域で受け継がれてきた自然や文化、生活様式を含めた環境を永続的な方法で、研究・保存・展示・活用していくというスタイルです。エコという言葉が先行しているイメージがありますが、自然に限らず、産業遺産なども含めて、地域社会とその発展のために、地域全体で地域の財産を見直そうという取り組みです。

2013年3月11日、追浜の夏島都市緑地に保存・展示されている東京湾第三海堡の構造物が横須賀市指定重要文化財に指定されました。東京湾第三海堡の優れた建設技術やその意義を広報するとともに、歴史的遺産を今後のまちづくりに活かす取り組みが、NPO法人アクションおっぱまやおっぱまはっけん倶楽部が中心となって展開されています。



### お問い合わせ

住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。郵送の停止を希望される場合や、バックナンバーを希望される場合など、ご遠慮なく、お申し出ください。

尚、ホームページより「すまい造りメール」創刊号からのバックナンバーをはじめ、追浜周辺の地図「Oppamap 2013」A-9歩ZONE版（永久保存版）をダウンロードすることができますので、アクセスしていただき、ご活用ください。

皆様の「快適な暮らし」のヒントになることができましたら幸いです。

〒237-0068 神奈川県横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店  
TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139

すまい造り

検索